

第32回漢方教室（鍼灸）

漢方でがんと向き合うー心と体の免疫力をアップー

日本の国民の2人に1人ががんになるという時代です。近年ではがん対策基本法が施行され、緩和ケアという医療が行われるようになってきています。この緩和ケアとは、がんと診断されてから終末期までのキュアとケアを言います。さて、今回のテーマで鍼灸がみなさまのどう向き合うかのお手伝いができるかをお話ししてみます。鍼灸は時期によっていろいろなお手伝いができることがあります。

では、私たちに何ができるのかをお話したいと思います。

予防期間⇒ならない様にする事です。これは言い換えれば養生のお手伝いです。

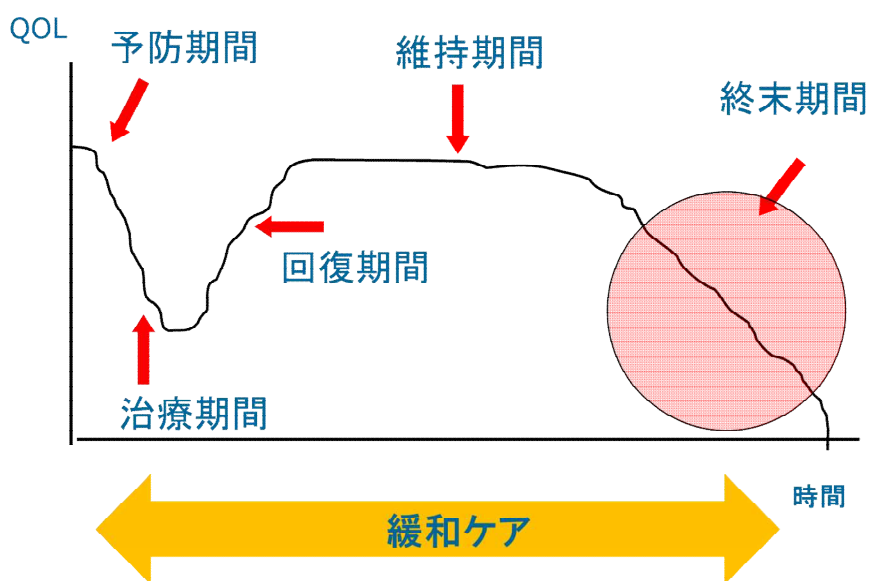
治療期間⇒治療による副作用の軽減のお手伝いです。

回復期間⇒免疫力をUPすることのお手伝いです。

維持期間⇒免疫力をUPすることのお手伝いやその他の症状軽減のです。

終末期間⇒QOLの維持のお手伝いです。

がん患者に鍼灸の介入



(鍼灸師が在宅緩和ケアに従事するとき 細田行政より引用)

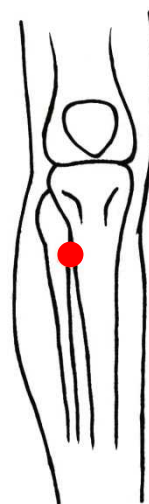
QOLとは、人々の生活を物質的な面から量的にのみとらえるのではなく、精神的な豊かさや満足度も含めて、質的にとらえる考え方。生活の質。人生の質。生命の質のことです。

「鍼灸でがんを治せるか？」という質問をよく受けます。私は難しいのではないかと思います。鍼灸ができるのは「気の力」による「免疫力の向上」です。

気の力をUPさせる代表的なツボを紹介します。

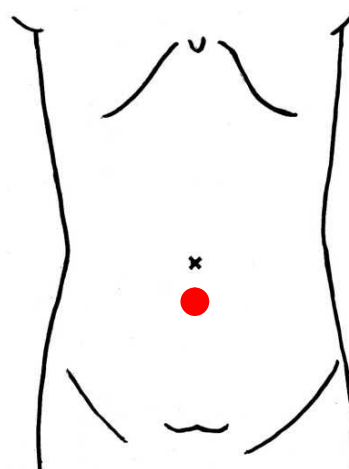
足三里（あしさんり）

膝下のすねの上にある突起した骨の下縁から外側指2本のところ



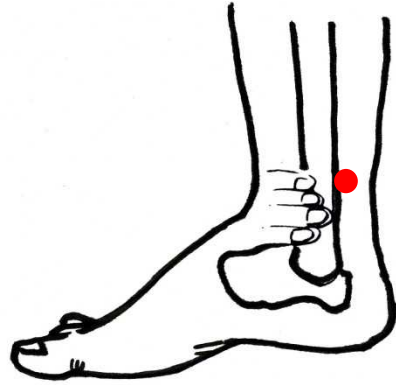
気海（きかい）

へそから真下に指2本のところ



三陰交（さんいんこう）

内くるぶしの中央からすねに沿って
膝の方へ指4本上がった骨の内側の
際



ホスピスでの東洋医学的な試みをしている施設は少ないのが現状ですが、近年は一部の施設でも鍼灸を取り入れる施設がでてきました。東洋医学的な試みの目標は、QOL（Quality of life）を維持のお手伝いです。

このQOLとは、人々の生活を物質的な面から量的にのみとらえるのではなく、精神的な豊かさや満足度も含めて、質的にとらえる考え方。生活の質。人生の質。生命の質のことをいいます。